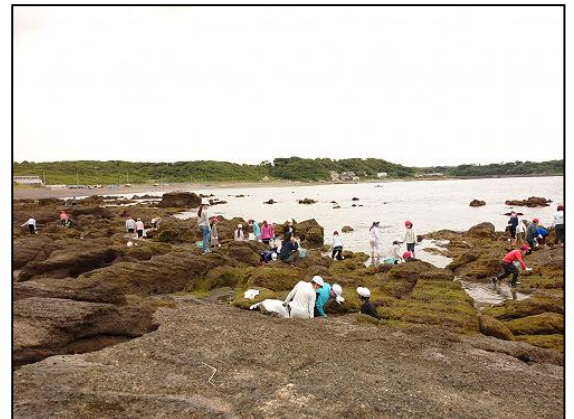


「宿泊行事からの学び」

副校長 亀田 泰紀

5月10日の3年生の遠足を皮切りに、6月10・11日の5年生宿泊体験学習まで、今年度は子どもたちが楽しみにしていた遠足や体験学習、修学旅行を各学年とも予定通り実施することができました。コロナ禍の中、ここ2年間は宿泊行事の変更や延期を余儀なくされ、過密日程で計画や準備を進めるといった厳しい状況が続いていました。以前は当たり前のことでしたが、行事を予定通りに実施できるありがたさを実感しています。このまま感染症の状況が落ち着くことを願うばかりです。保護者の皆様におかれましては、お弁当作りや荷物の準備などのご協力をいただきありがとうございました。どの学年も笑顔あふれる素敵な時間を過ごすことができました。



私は5年生の三浦宿泊体験学習に引率として参加しました。5年生は昨年度(4年生の時)の体験学習は日帰り実施だったため、初めての宿泊学習になります。期待と不安で胸をいっぱい膨らませる中、一泊二日の活動がスタートしました。1日目は、観音崎の砂浜でビーチコーミングと貝殻調べをした後に、宿舎である三浦YMCA グローバル・エコ・ビレッジに移動しました。広い敷地内でウォークラリーを行い、夜はナイトウォークを楽しみました。2日目は、和田長浜海岸で磯の生き物観察会を実施しました。天候にも恵まれ、二日間、充実した体験活動を実施することができました。

帰校後の子どもたちの振り返りには、「友達と協力することができた。」「スタッフの方に大きな声でお礼が言えた。」「室長としての役割を果たし、5分前行動することができた。」「眠くなくても目を閉じて静かにした。朝早く起きても時間までベッドから出ず静かにしていた。」「あまり仲が良くなかった友達とも仲良くすることができて嬉しかった。」など、自分の取組を認める言葉が数多くありました。宿泊学習を通して、自然の豊かさや友達のよさを知り、自主性や責任感・相手意識を育み、家族のありがたさを実感するなど、ここでしか得られない、様々なことを学びました。

また、良いことだけではなく、友達と揉めてしまう、楽しさを優先し約束を忘れてしまうなどの失敗もありました。しかし、そのようなときも今の自分のあり方を見つめ直すことで反省し、友達と互いに支え合うことで乗り越えることができていました。子どもたちは、この二日間の貴重な体験や達成感を友達と共有したことにより、今までよりも学級や学年への所属感や連帯感を高め、一回りも二回りも集団として大きく成長することができたのではないかと思います。

「この経験を6年生の修学旅行に生かしていきたい。」と多くの5年生が振り返っていました。5年生は、この宿泊体験学習で学んだ経験を次のステップにつなげることを意識し、瀬小を支える高学年としてさらなる成長を見せてくれることと思います。職員一同、地域や保護者の皆様と協力しながら、5年生だけでなく、すべての瀬小の子どもたち一人ひとりの活躍を精一杯サポートしていきます。今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。